様式第７－１号

事業の実施内容

1）実施方針・体制

・応募者は、基本方針・概要・設備の平常時の概要図（設置方法（フロート架台や高架台等）の概要が分かる図面）等を記載してください。また、電力活用方法を記載し、自営線や託送による特定の需要家への売電の場合は、需要家の名称と事業用地から需要家までの自営線敷設経路又は託送経路を図示してください。

・事業実施体制を記載してください。整備段階と維持管理段階の事業実施体制が異なる場合、各段階の実施体制を記載してください。

2）太陽光発電設備容量

・太陽光パネルの定格出力（kW）とパワーコンディショナの定格出力（kW）を検討し、記載してください。

・自家消費する設備がある場合は、自家消費電力（発電に必要な所内電力を含む）の最大値（kW）を記載してください。

3）河川管理への影響度

・遊水地の治水容量に対する阻害容量※を、占用面積10㎡あたりの阻害容量として計算し、㎥単位で示してください。

・飛散、流出、感電の対策の方法・考え方（適用基準等）を記載してください。

・運転期間における維持管理の計画（公募要綱11.（2）①の点検要領（ただし、ウ(d)、(e)を除く）を記載してください。

※阻害容量とは、CNゾーンに応募者が設置する設備の体積を占用面積で除し10㎡あたりに換算したものです。ただし、堤防高（T.P.＋10.90）以上に位置する設備の体積、地盤下の設備の体積は除きます。

4）地域への貢献

・公募要綱4.（1）④⑤⑦の条件を満たした場合、下記に☑を入れて下さい。

　　□防災コンセントと移動式蓄電池を設置します。

□管理用機器へ電力供給する設備を設置します。

□公園のトイレ１棟及び管理用街路灯1灯へ電力供給する設備を設置します。

・公募要綱6.（1）4）に示すエネルギーの地産地消や環境教育等（実施場所は問いません）の地域貢献に関する提案がある場合、内容を記載してください。

5）その他独自提案

・ぎらつきを抑えた太陽光パネルの採用など、周辺の景観や利用との調和に配慮する場合、記載してください。

・公募要綱4.（1）⑨（c）に示す水素製造・活用の先導的な技術を導入する場合は、概要と当該技術の開発レベル（実用化レベル又は実証レベル）を記載してください。

6）事業実施スケジュール

・基本協定締結、河川占用許可を含む許認可取得行程、工事着手時期、供用開始時期を含む事業実施スケジュールを記載してください。

※　記入上の注意

　１　社名やロゴマーク等、応募者を特定できる情報は記載しないでください。